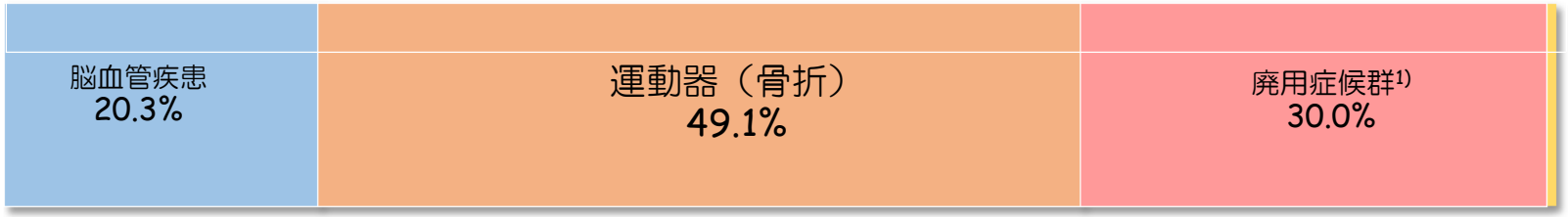
2019-回リハ病棟実績 2019/4/1-2020/3/31　N=349

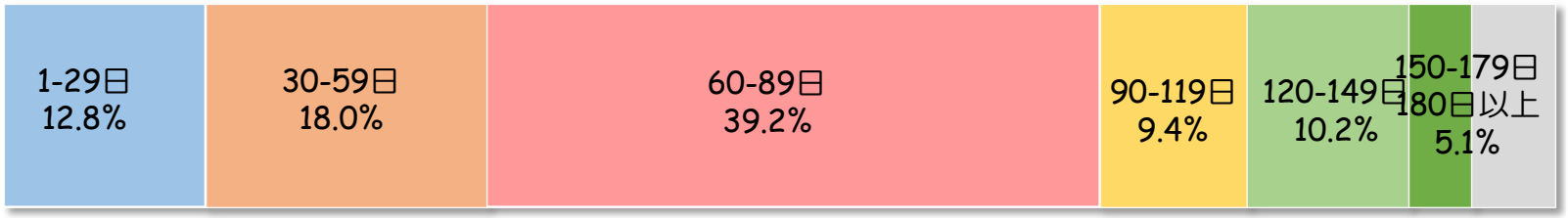
- 男女比(%)　　：37.8：62.2
- 平均年齢(歳)　：81.3
  内訳(%)　　：64歳以下7.8，65-74歳20.5，75-84歳23.4，85歳以上48.3

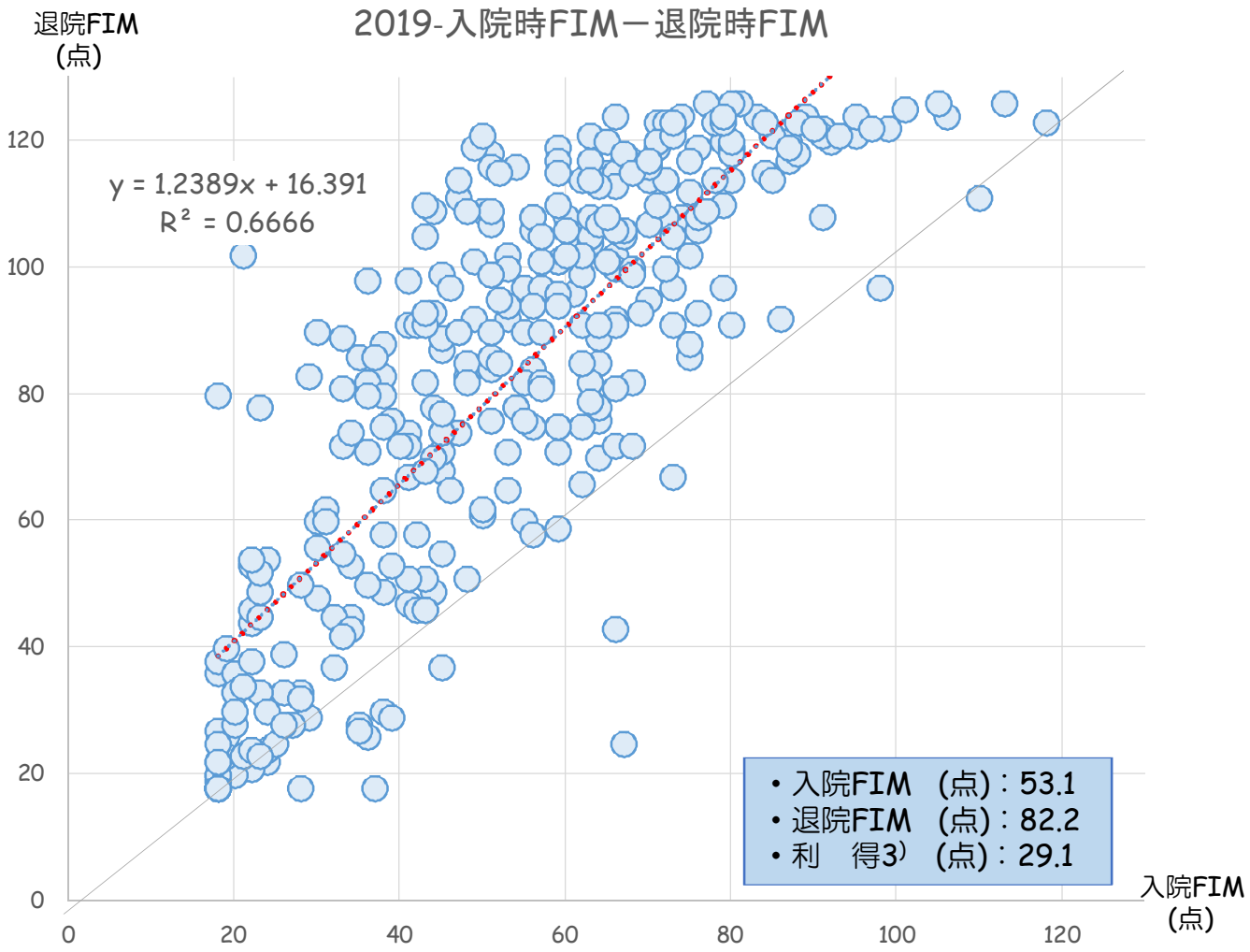
- 疾患内訳(%)：
  脳血管疾患20.3，運動器（骨折）49.1，廃用症候群　30.0，その他0.6



1)廃用症候群:過度に安静にすることや、活動性が低下したことによる身体に生じた様々な状態。

- 平均在院日数(日)：88.2
  内訳(%)　　：1-29日12.8，30-59日18.0，60-89日39.2，90-119日9.4，
  120-149日10.2，150-179日5.3，180日以上5.1

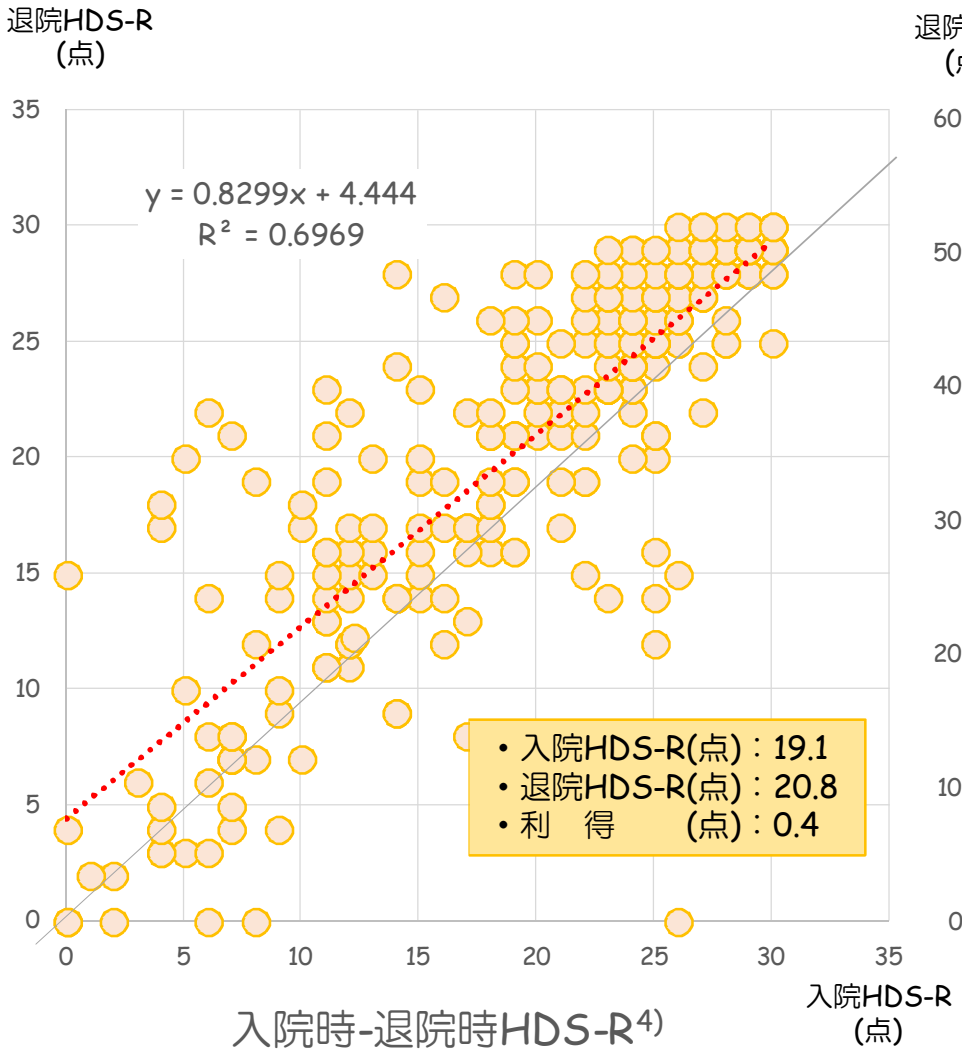




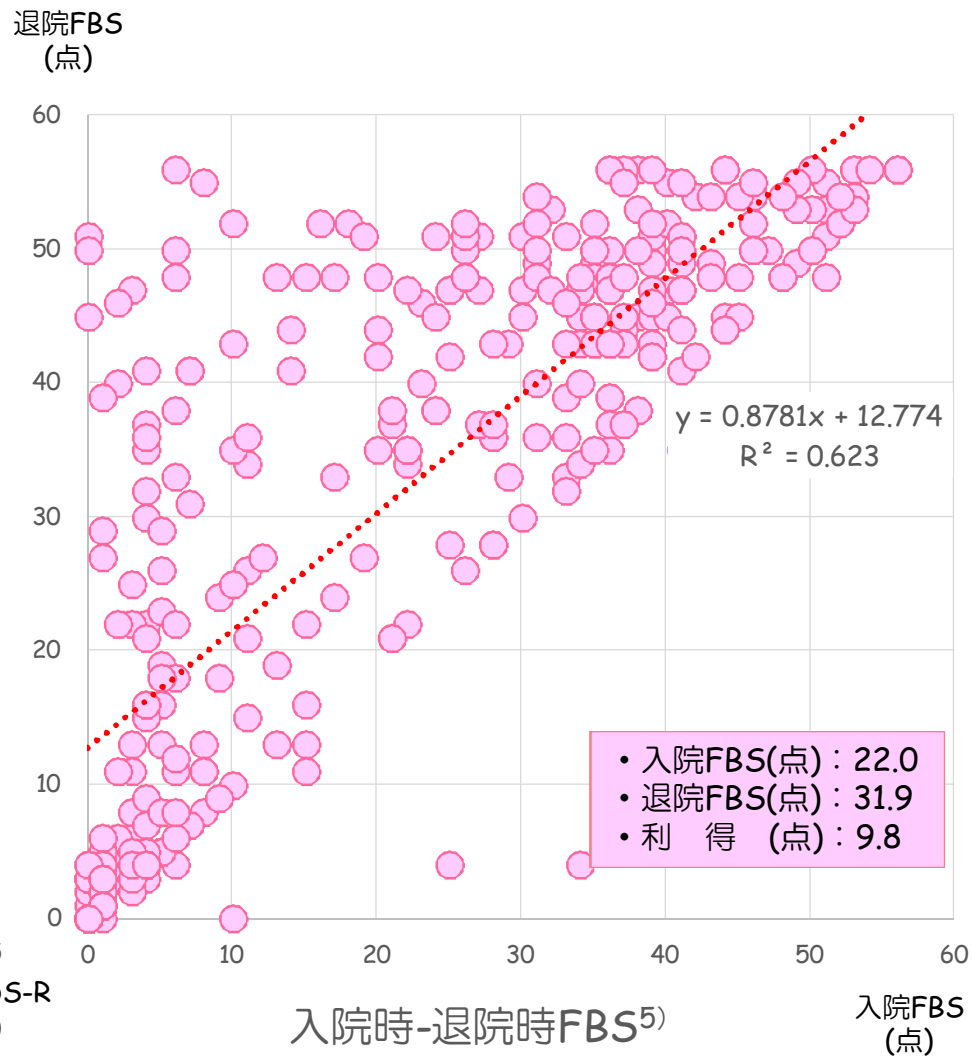
入院時-退院時FIM[2)]の散布図

2)FIM(Functional Independence Measure)：機能的自立度評価法日常生活動作の自立度を示す指標。セルフケア（食事動作、整容動作、清拭・入浴動作、更衣、トイレ動作）、排泄の状態、移乗動作の状況（ベッド・椅子・車椅子移乗、トイレ移乗、浴槽移乗）、移動動作の状況（歩行・車椅子、階段）、コミュニケーションの状況（理解と表出）、社会認識（社会的交流、問題解決、記憶）について18項目、7点満点の合計126点で評価。

3)利　得：退院時FIMから入院時FIMを引いた点数。得点が高いほど自身でできることが多くなり介助してもらう量が少なくなったことを示す指標。

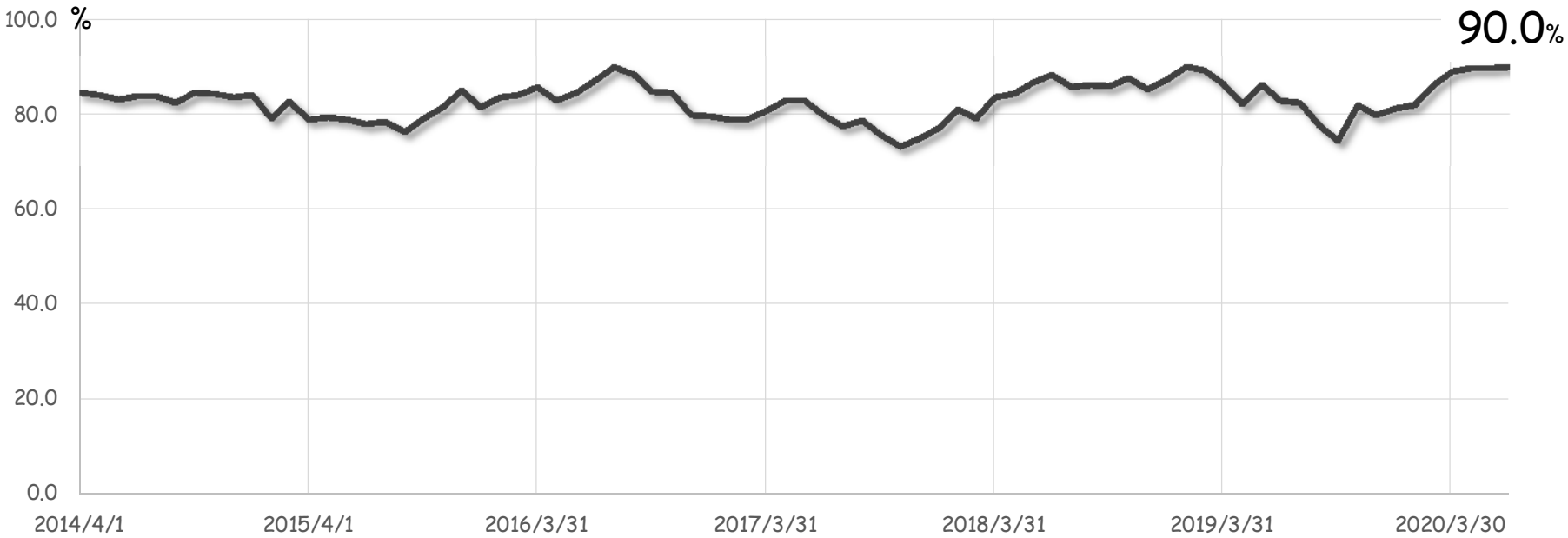


入院時-退院時HDS-R[4)]



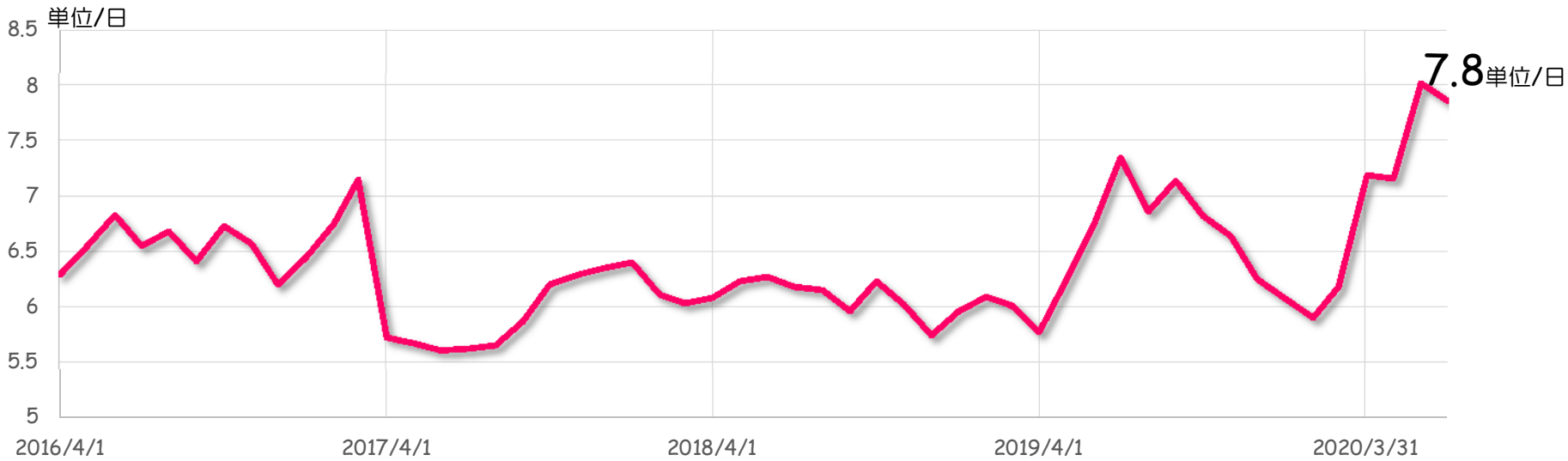
入院時-退院時FBS[5)]

4)HDS-R(長谷川式簡易知能評価スケール):認知症のスクリーニングに有効な検査の一つ。年齢、日時・場所の見当識、即時再生計算問題、数字逆唱、遅延再生、物品記銘、言葉の流暢性について30点満点で評価。
5)FBS(Functional Balance Scale)：転倒のリスクなどを調べるためのバランス検査。椅座位からの立ち上がり、立位保持、座位保持、着座、移乗、閉眼立位保持、閉脚立位保持、上肢の前方リーチ、床から物を拾う、左右の肩ごしに後ろを振り向く、360°回転、段差踏み替え、継ぎ足位での立位保持、片脚立位保持について14項目5点満点の合計56点で評価。



在宅復帰率　推移

在宅復帰率=（自宅+居宅系介護施設等（介護医療院含）+有床診療所（介護サービスを提供している施設））へ退院した患者数／回復期リハビリテーション病棟を退院患者数（死亡・一般病棟への転棟・転院除）



(1単位=20分)

1日あたりのリハビリ提供単位数　推移